

# 大腸がん に対する ロボット手術

## さらなる低侵襲手術へ

これまで、大腸がんの手術は開腹手術から腹腔鏡手術へと低侵襲手術が発達してきました。腹腔鏡手術は、通常の開腹手術と比べて、傷が小さく整容性に優れ、痛みも少なく、患者さんへの負担が少ない(低侵襲)手術です。腹腔鏡手術の問題点は専用器具を使って間接的に手術をおこなうため、技術の習得には多くの経験が必要なことです。この腹腔鏡手術の欠点を補うことが出来る最新の治療がロボット手術です。ロボット手術は、執刀医の動きを忠実に再現した手術支援ロボットのダヴィンチ(da Vinci)が執刀医の操作のもと手術をおこなうもので、2001年にアメリカで前立腺がんの手術において初めて導入されました。大腸がんにおいては2002年にアメリカで世界初、2009年に日本初のロボット支援手術がおこなわれました。さらなる低侵襲手術となるロボット手術について、大腸癌に対するロボット手術において国内最多の実績を持つ、東京医科歯科大学大学院消化管外科学分野教授の絹笠祐介先生に御講演いただきます。



講師

東京医科歯科大学 消化管外科学  
教授 絹笠 祐介

1998年東京医科歯科大学卒業2007年同大学院腫瘍外科学分野卒業。2001年より国立がんセンター中央病院勤務。2006年より静岡県立静岡がんセンター勤務。2010年4月より同大腸外科部長。2017年9月より東京医科歯科大学大学院消化管外科学分野教授、同附属病院大腸肛門外科科長。2018年より同 低侵襲医療センター センター長 兼任。外科学会、日本消化器外科学会、大腸肛門学会各専門医・指導医。日本内視鏡外科学会技術認定医。日本ロボット外科学会理事。大腸癌治療ガイドライン委員。JCOG大腸がんグループ運営委員会メンバー。専門は大腸がんの外科治療、腹腔鏡手術、ロボット手術。

2020年10月29日(木) 17:30~18:30

公益財団法人ときわ会 常磐病院 中央棟1階 (いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57)

対象 医療関係者全般 参加費 無料

事前申込制となりますので下記番号・アドレスまでお電話・ファックス・メールにてお申込みください。※申込締切/10月26日(月)

参加申込・お問い合わせ先